

令和6年度 愛知県高等学校名北支部指導者講習会

報告書

令和6年7月13日（土）に愛知県バドミントン協会指導委員会と高体連バドミントン専門部名北支部が協力して指導者講習会をおこないました。場所は春日井泉高校の体育館で、指導者17名、生徒78名が講習を受けました。生徒のレベルは各学校のトップ選手対象となっていたので高校2年生が多数集まりました。全日本総合優勝を2度など、国内の大会を多く制覇し、バドミントン界の一時代を築き引退後は、理学療法士の資格を取得して痛みに対してだけでなく、競技パフォーマンスの改善を主体に「コンディショニングルーム KATAYAMA」を運営する片山卓哉さんが講師を務めてくれました。片山卓哉さんは多くのトッププレイヤーの動きを理学療法という方面から改善された経験から、体重移動をスムーズにおこなえるための体のつくり方の講習をおこなってくれました。具体的な内容としては、フロントコートへの素早い移動を生み出す原理を映像を見ながら講義してもらいその後片山流施術をおこなってから実際にノックを体験するといったものでした。私も体験したのですが、理論が理解でき、片山流施術を受けてからノックをおこなうと動きの硬さがとれスムーズに移動ができるという感覚がわかるほどでした。このことから、思うにはやはり運動は自らの体の効率的な仕様の仕方に変化するのであるということを実感できる事象でした。その他にも多くの施術を施していただきましたがどれも実感ができてとてもためになる時間であったと感じています。

午前中だけといった短い時間の中での講習会でありましたが、内容が濃く学ぶ視点多い講習会でした。このような試みを続けていき、名北支部の高校生の練習の質や技術が向上していければ幸いです。



指導委員会 立松